



大野高校通信 飛翔

H28年度第11号
3月2日(木)発行
発行責任者 校長 菅原一成

平成28年度卒業式 【式辞】より

卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。
 学校から、親元から、一步前に踏み出して、新しい挑戦を始める皆さんに、私から、はなむけの言葉として心得ておくべき3つのことについて、お話したいと思います。まず一つ目、「あいさつ」です。あいさつを元気にさわやかにしようということです。新しい職場での出会いは、あなたにとって宝物です。誰だって良い印象であいさつをされたら嬉しいものです。ですから、あいさつは出会いを大切に思う人の最高のパフォーマンスだと考えてください。次に二つ目は、「礼儀」です。例えば、相手に対して感謝の気持ちを行動で伝えること、知らないことを教えてもらったときに、きちんと相手の話を受け止め、素直に感謝の気持ちを伝えることが出来れば、周りの人はどんどん大切なことをあなたに教えてくれるはずです。そして、三つめ、それは「気配り」です。人にされて嬉しかったことは、自分も人にするということです。気配りをするためには状況を正しく見極める力や先を読む力が必要です。「働く」という漢字を思い浮かべてください。ニンベンに「動く」と書きます。「働く」ことは「人が動く」「人を動かす」ということです。まずアンテナを高くして、相手の人の気持ちや立場になって考え、自分が率先して動くことで、相手から喜ばれ、感謝されます。つまり、気配りにより、自分の心を動かすことが、他の大勢の人の心も動かすことにつながっていきます。自分に自信の無い人は、自分の居場所から動こうとしません。居心地の良い場所にしがみついたまま、自分に都合の良い条件で他人とコミュニケーションをとろうとします。自分が動かずして、相手の心を動かすことはできません。これがさりげなく出来る人は誰からも愛される人になると思います。

さて、これまでお話しした「あいさつ」や「礼儀」、「気配り」は、実は大野高校で皆さんが3年間身につけようとして努力し、実践してきたことです。今度はそれを次のステージでも積極的に発揮し、新しい出会いをあなた方の宝物に変えていってください。

平成29年3月1日

岩手県立大野高等学校 校長 菅原 一成



〈高校3年間皆勤者〉

芦口祐輔、小向絢也、三本木勁人、小司睦稀
 高際千草、田代有希、中川原有花、中村 静
 堀田沢瑞稀、山崎実穂

以上10名

〈高校3年間精勤者〉

権谷智希、平船慎太郎、野田泰地、早野冬真
 向明戸優太、柏木美里、村田穂乃香

以上 7名

〈平成28年度校内読書感想文コンクール〉

- 最優秀賞 3年B組 田代 有希
 「暗闇を照らした光」
 優秀賞 3年A組 上小路 美優
 「特性は個性」
 優秀賞 1年A組 小田 日華
 「忘れてはいけない大切なもの」
 佳作 3年B組 高嶋 優希
 「『人間失格』を読んで」
 佳作 2年A組 中山 紀春
 「私が知った最高の例え話」

〈第11回洋野町読書感想文コンクール入賞〉

- 高校の部最優秀賞
 高嶋 優希 「『人間失格』を読んで」

【大野高校生が今年度取得した資格】

平成29年2月28日現在

- 実用英語技能検定
 準2級：8名 3級：7名
 日本漢字能力検定
 2級：1名 準2級：3名 3級：14名
 ビジネス文書検定
 2級：6名 3級：29名
 情報処理検定
 3級：40名
 家庭科食物調理技術検定
 4級：24名 (6月16日)
 危険物丙種：3名
 介護職員初任者研修：6名

【第 11 回洋野町教育振興大会】



平成 29 年 2 月 4 日(土) 洋野町民文化会館

大会では、まず始めに、洋野町教育振興会表彰式が行われ、大野高校からは、スポーツ振興賞として、県高総体、東北高校総体優勝の卓球部女子が表彰されました。次に事例発表として、それぞれ宿戸実践区と大野高校から発表がありました。大野高校からは、生徒会執行部の村田昌之君、斉藤蘭さん、江莉未夏子さん、塩倉幸奈さんの 4 人が代表として登壇しました。テーマは「大野高校の地域活動について」地域から学び、地域の活性化に貢献している活動として次の 3 つの活動について説明しました。①里山プロジェクト、②介護職員初任者研修、③北奥羽ナニヤドヤラ大会への参加です。時折、ユーモアを交えたとてもわかりやすい堂々とした発表で、最後に「地元についてよく理解し、洋野町をより良い町にできる人材になれるように努力していきます。」と決意を述べて発表を締めくくりました。

事例発表の後は、ジャーナリスト石川結貴氏によるスマホゲーム、SNS、お小遣いサイト等の「おとなの知らない子どもの世界」と題する記念講演が行われ、とても充実した大会となりました。

【久慈管内事業所見学会】

2 月 22 日(水)久慈公共職業安定所・久慈雇用開発協会主催の事業所見学会が久慈地区の高校 2 年生を対象に行われ、本校では 1 月の「しごとスクエア in 久慈」に続き 2 年生全員が参加し、今回は地元企業の現場を見ながら改めて働くという事について具体的に考える機会としました。生徒たちはそれぞれ、(株)久慈グランドホテル、東京電波(株)久慈工場、(株)ヤマイチ、(株)ユニバース久慈 SC 店、三陸鉄道(株)、(株)細谷地、久慈琥珀(株)、ミドリ久慈衣料(株)、(有)マルヒ製材、岩手モリヤ(株)、(株)ジャムフレンドクラブエース久慈、中央介護センター(有)、ひばり療護園、八戸缶詰(株)久慈工場の中からコースを選択して 3 社を巡り、企業の方から説明を受けながら見学をしました。

普段、目にする事のない会社の営業努力や、両親の勤めている会社の様子、仕事の内容、求められる人材の具体像など、多くの気づきを得たようです。



【第 86 回北日本卓球大会】

平成 29 年 1 月 28～29 日 花巻市総合体育館
〔男子団体の部〕

2 回戦 大野 0－3 東北大学(宮城)
〔女子団体の部〕

1 回戦 大野 3－0 大曲高校(秋田)

2 回戦 大野 3－0 桜クラブ(秋田)

3 回戦 大野 3－0 フルーティ(秋田)

準決勝 大野 3－1 五所川原商業 A(青森)

決勝 大野 2－3 五所川原商業 B(青森)

〔女子シングルス〕

女子ジュニア ベスト 8 大野 美恵

女子一般 第 3 位 塚本 佳苗

【第 40 回東北選抜卓球大会兼全国選抜大会予選】

2 月 9～12 日 弘前市青森県武道館

〔女子学校対抗の部〕

・予選リーグ

大野 3－0 角館高校(秋田 3 位)

大野 3－1 磐城第一高校(福島 3 位)

大野 2－3 弘前高校(青森 2 位)

大野 0－3 聖和学園高校(宮城 1 位)

大野 3－2 鶴岡東高校(山形 1 位)

☆ 2 位通過

・順位決定リーグ

大野 1－3 秋田商業高校(秋田 1 位)

大野 1－3 郡山女子大附属高校(福島 2 位)

☆ 総合第 6 位

※ 3 月 24～28 日

第 44 回全国高校選抜大会出場(大阪府大阪市)

【久慈市インドアソフトテニス大会】

2 月 25～26 日 久慈市民体育館

オフシーズンでのレベルアップと高総体へ向けた強化を目的として、久慈管内の高等学校と、県内は宮古地区、盛岡地区をはじめとした強豪校の選抜ペア、青森県のインターハイ出場校も招待して行われた大会です。

本校からは、男子はいずれも 2 年生の源田・嶋守ペア、太内田・野口ペア、女子はいずれも 1 年生太内田・佐藤ペア、新田・及川ペアが出場しました。

結果は各ペア予選リーグ戦での敗退でしたが、強豪相手に臆することなく、真正面からぶつかっていき、今後につながるゲームを展開できました。

【3 月の行事予定】

1 日(水) 卒業式

2～5 日 東京卓球選手権大会

9 日(木) 入学者選抜学力検査

11～14 日 春季課外授業

16 日(木) 合格発表

21 日(火) 終業式・離任式・教科書購入日

24～28 日 全国選抜卓球大会(大阪)

30 日(木) 入学手続き

